

請 願 第 7 号	平成27年2月24日受理
付 託 委 員 会	福祉常任委員会
件 名	平成27年度八千代市長寿会連合会補助金算定方法の見直しに関する件
紹 介 議 員	横 山 博 美 議員 山 口 勇 議員 緑 川 利 行 議員 林 利 彦 議員
請 願 要 旨	
<p>1 八千代市長寿会連合会補助金算定方法に関する件</p> <p>平成26年度補助金実績2,770,200円に対し平成27年度の見直しにおいては、市長が定める事業を最大限実施しても2,115,000円となり、655,200円(23.7%減額)となる。その上福祉バスの廃止を考慮すれば、実質的に955,000円(35.5%減額)となる。突如として高齢者の生きがい事業に対する35%を超える減額は、常軌を逸した措置とも映る。また、この減額の影響は大きく、次年度の事業計画の立案の目途が立たないばかりか組織の存立をも危うくする。</p> <p>26年度実施してきた3世代交流事業(スポーツ、芸能、工芸)ふれあい教室45小学校・保育園、福祉施設への友愛訪問、公共の場の清掃・花壇の手入れ、日常練習に励んでいる高齢者活動の大きな部分である芸能大会等主要事業の開催が不能となることが考えられる。</p> <p>以上のことから必ず再検討をお願いしたい。</p> <p>2 長寿会連合会単位クラブ補助金の見直しに関する件</p> <p>平成27年度の算定方法の見直しで試算した場合、市長が定めた活動を全て実施しても26年度の補助金額に届かず、10%前後の減額となる。</p> <p>現状で市長が定める条件つき活動を全て実施できる単位クラブは非常に少なく、半分程度実施の場合30%前後の減額となり、常識では考えられない減額であり、クラブ数の減少に拍車がかかることが考えられる。</p> <p>再検討を強くお願いしたい。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. 本件と別件請願の平成27年度福祉バス廃止に関する件及び平成27年度ふれあいプラザ団体送迎バス廃止に関する件は同時進行することとなり、その相乗効果は長寿会連合会及び単位長寿会の組織を大きくむしばむこととなり、何ら修正されなければ長寿会組織破壊の元年となり、取り返しのつかないこととなります。どうか現時点で再検討されますことを強く願います。</p>	